

2020年度（令和2年度）

福山市教育委員会会議録（第15回）

【3月26日（金）開催】

福山市教育委員会

福山市教育委員会会議録（第15回）

1 招集年月日 2021年（令和3年）3月26日（金）
午後2時00分

2 場 所 教育委員室

3 出席委員 5名

出席又は欠席	席番	名 前
出席	1	三好雅章
出席	2	菅田章代
出席	3	金 仁洙
出席	4	神原多恵
出席	5	横藤田 晋

4 会議に出席した事務局職員

教育次長兼学校教育部長事務取扱	佐藤元彦
管理部長	金尾直樹
教育総務課長	來山浩一郎
学事課長	亀山貴治
学びづくり課長	井上博貴

5 会議の書記

教育総務課総務政策担当次長	須藤 誠
教育総務課職員	杉野純一
教育総務課職員	中村千咲

【開会時刻 午後2時00分】

- 三好教育長 それでは、ただいまから、2020年度（令和2年度）第15回福山市教育委員会会議を開会いたします。
- 三好教育長 本日の議案については、議事日程どおり進めていきます。
はじめに、日程第1 教育長の報告についてです。
資料の1ページをお願いします。
3月17日の臨時校長会議において教職員人事異動の校長内示を行いました。翌18日16時以降に本人内示を行い、これを受けて、今年度のまとめや4月以降の引継準備等を始めているところです。
また、3月18日の本会議において、教育長の任命同意をいただき、引き続き4月から教育長をさせていただくこととなりました。引き続きよろしくお願いたします。
前後しますが、3月15日が中学校の卒業式、3月16日が福山中学校の卒業式、3月22日が小学校の卒業式でした。各学校において、出席者等それぞれの状況に応じて対応を行い、感染対策を行う中で無事に卒業式を終えました。
また、昨日3月25日に小中学校の終業式を行い、子どもたちの今年度の登校は昨日までとなりました。こちらも無事に行うことができました。
以上です。
- 三好教育長 報告について、御意見、御質問はありますか。
- 全教育委員 （なし）
- 三好教育長 それでは、次に、日程第2 議第87号 市長の職務権限に属する事務の補助執行に係る協議について、を議題とします。説明をお願いします。
- 來山教育総務課長 2ページをお願いします。
議第87号 市長の職務権限に属する事務の補助執行に係る協議について、御説明いたします。
市長の権限に属する事務の一部を、教育委員会の事務を補助する職員に補助執行させることについて、地方自治法第180条の2の規定により、市長から協議があったことについて、これを承諾する旨を回答するものでございます。
3ページをお願いします。
協議の理由です。
福山市未来創生人材育成基金を活用して行う「未来創生人材育成奨学資金貸付事業」と同基金の管理及び処分を一体的に実施するため、市長から協議があったものであります。
変更する事務につきましては、「市長以外の執行機関等の所掌事務に係る財産の取得、管理及び処分に関すること。」として補助執行させる事務に、「福山未来創生人材育成基金の管理及び処分に関すること。」を追加するものでございます。
施行日については、本年4月1日です。
その他といたしまして、市長の職務権限に属する事務の委任及び補助執行に関し疑義が生じたときは、両者協議して定めることといたします。
以上です。
- 三好教育長 御意見、御質問はありますか。

全教育委員	(なし)
三好教育長	ないようですので、お諮りします。 議第87号は、原案どおり可決してよろしいでしょうか。
全教育委員	(異議なし)
三好教育長	御異議ないようですので、議第87号は原案どおり可決しました。 それでは、次に、日程第3 議第88号 臨時代理の承認を求めること について(福山市教育委員会事務局職員及び福山市立福山高等学校教職員の の人事)を議題とします。 説明をお願いします。
來山教育総務 課長	4ページをお願いいたします。 議第88号 臨時代理の承認を求めることについて(福山市教育委員会 事務局職員及び福山市立福山高等学校教職員の人事)について、御説明い たします。 福山市教育長に対する事務委任等に関する規則第3条第1項の規定によ り、福山市教育委員会事務局職員及び福山市立福山高等学校教職員の人事 について、別紙のとおり臨時に代理したので、同条第2項の規定により、 報告し、承認を求めるものでございます。 5ページをお願いします。 事務局の課長職以上及び管理主事・指導主事の異動についてです。 部長職につきまして、管理部長は、藤井 紀子学校再編推進室長。学校 教育部長は、井上 博貴学びづくり課長となります。 課長職につきまして、教育総務課長は、市長公室秘書課長の久保 正敬 課長。学校再編推進室長は、教育総務課長の來山 浩一郎課長。学事課長 は、学事課企画研修担当次長事務取扱を学事課長専任とし、引き続き、亀 山 貴治課長。学びづくり課長は、学びづくり課人権教育担当次長の本宮 正尚次長、学校保健課長は、保健福祉局長寿社会応援部介護保険課認定調 査・審査担当課長の原 昭信課長となります。 5, 6ページにかけて、管理主事, 指導主事の異動及び新規採用は8人 で、うち昇格は2人です。 また、佐藤 元彦教育次長が、再任用として、引き続き、専任の教育次 長を続けます。 続いて、異動及び退職する職員についてです。課長職以上は、2人が市 長部局等への出向、1人が退職、指導主事は、5人が退職します。 7ページをお願いします。 福山市立福山高等学校教職員についてです。教頭には、神辺高等学校の 大町 司教頭、それ以外の教諭では、割愛採用が1人、再任用が2人とな ります。 続いて、異動・退職する教職員についてです。5人が退職者しますが、 うち2人は再任用となります。 以上です。
三好教育長	御意見、御質問はありませんか。
全教育委員	(なし)
三好教育長	ないようですので、お諮りします。

議第88号は、原案どおり可決してよろしいでしょうか。

全教育委員

(異議なし)

三好教育長

御異議ないようですので、議第88号は原案どおり可決しました。
次に、日程第4 議第89号 2021年度(令和3年度)福山市教職員研修基本方針について、を議題とします。
説明をお願いします。

亀山学事課長

8ページをお開きください。
2021年度(令和3年度)福山市教職員研修基本方針について、御説明します。
次のページを御覧ください。
Ⅰ「目標」は、「全ての研修を「子ども主体の学び」づくりに集中・関連させ、教職員の授業力と専門性の向上を図り、福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる」ことです。
Ⅱ「求められる教職員像」についてです。
昨年度の基本方針から、「文部科学省 2020年代を通じて実現すべき『令和の日本型学校教育』における教職員の姿」を追加しました。
これは、本年1月26日、中央教育審議会が、全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの実現を目指し、文科省に答申したものです。
答申の中で、目指す教職員の姿を、「学校教育を取り巻く環境の変化を前向きに受け止めている」、「教職生涯を通じて学び続けている」、「子ども一人一人の学びを最大限に引き出している」、「主体的な学びを支援する伴走者としての役割を果たしている」としています。これは、この間、本市が進めてきた子ども主体の学びに向けた「教職員の姿」と同じであり、教職員研修を通して実現を目指します。
下段は、「広島県教育委員会『人材育成の基本方針』及び『求められる教職員像』です。
次のページ、Ⅲ「推進体系」を御覧ください。
1月の教育委員会会議において、指導・支援体制の充実に向け、御意見をいただいたように、各学校が、校長のリーダーシップのもと、21世紀型“スキル&倫理観”の育成に向けた「子ども主体の学び」づくりを進めていくために、校長研修はもちろんのこと、教頭を始め、一人一人の教職員が起点となり、学び続ける研修を推進していきます。
福山100NEN教育6年目は、『認知の仕組み』から学習方法を見直す」をテーマに掲げており、改めて、「子どもたちにどう教えるか」から「子どもたちがどう学ぶか」という視点で、子ども一人一人の学びを促す教師の役割を考える内容を企画・運営していきます。
まず、中央の四角の部分、一斉研修についてです。
各校は、「子どもがどう学ぶか」という視点からテーマを設定し、テーマに基づいた校内・中学校区研修を計画的に行うことで、研究を継続・積み上げます。次年度は、4月から来年2月まで、月1回の計11回を計画しています。その内、中学校の教科担当が集まる教科別研修を5回行います。
次に、研修講座について、次年度新たに行うもの、改善するものについて説明します。
左上、指定研修についてです。「管理職研修」の校長研修を小中それぞれのブロック別で行い、これまで以上に、校長が自校の取組や考え・意見等を出し合い、交流できるようにします。また、外部機関と連携し、経営

戦略や人材・組織等に係るマネジメント研修を行い、マネジメント力の向上を図ります。

「個に応じた学びづくり研修」は、特別支援学級、きらりルームを含めたすべての教室で、子ども一人一人の違いや学ぶ過程が大切にされるよう、一人一人の実態に応じたアセスメントや支援の在り方について理解・実践していくことを目的としています。

左下、任意研修では、「教職員ニーズ研修」を行います。授業、研修、働き方、ICTの活用等、さまざまな切り口から、教職員が必要とする内容、交流したい話題をタイムリーに取り上げ、交流・協議し実践につながる研修を、主にオンラインで行います。また、「子ども主体の学びづくり研修」は、市教委が主催するだけでなく、教職員が講師となり、自らの授業動画や取組等の具体的な場面に基に、考え、対話できるものも計画します。

ICTの活用に関する研修は、基礎的な活用を学ぶ「ベーシック研修」と応用的な活用を学ぶ「スタンダード研修」を行います。また、スタンダード研修の修了者を対象とし、発展的な活用を学ぶ「アドバンス研修」も計画しており、目的や意図に応じた効果的な活用方法を継続的に学べるものにします。

次年度、オンライン環境の整備に伴い、端末を活用した研修も積極的に取り入れていきます。実際の授業や子どもの姿を基に交流・協議ができる「集合研修」、遠方にいる講師から講話を聴くことができる「オンライン研修」など、それぞれの良さを生かしたハイブリッドな研修を計画していきます。

以上です。

三好教育長

御意見、御質問はありませんか。

金委員

スローガンというか理念、方針として「ふるさとに愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる」ということで、「ふるさとに愛着と誇りを持つ」という言葉はよく出ますが、実際には、言葉だけが先行しているようで、どのように進めているのか見えてきません。5年前に教育委員を拝命したときに、「方言、言葉を大切にすることは大事ではないか」と提言しました。これがふるさとに愛着を持つことの一助になるかは別として、言葉を守ることは大事だと思います。ふるさと学習だけで終わっているのか。企業訪問等もあろうと思いますが、実際どのように体系的に進めていくのか教えてもらえますか。

井上学びづくり課長

ふるさとに愛着と誇りをもつことに焦点化した研修はこの中にはありませんが、例えば、子ども主体の学びづくり研修などを通して、教科横断的な単元を教職員が工夫したり、地域を題材に子どもたちが探求していく教育課程や児童生徒の学習の様子などをお互いに交流しているところもあります。

先ほど、金委員が言われた、言葉を大切にすることについて、まさに今やろうとしている、認知の仕組みから学習方法を見直すという基にあるのは、児童が言葉をどのように習得していくかという考え方から、どう学ぶかという視点で授業をみていこうとしています。言葉を習得するには、もちろん方言のこともあります。子どもたちが日々の生活の学びを通して言葉を習得していく、語彙を豊かにしていくことも大切にしていきたいと思っています。

金委員

もう一点、以前、柿原元教育委員が、学校の先生はいろんな地域から来

	<p>ていて、福山自体を知らない先生が子どもにどのように教えるのか、という問題提起をされたことがありました。新任の先生などで、市外から来て福山に愛着が無い教職員が子どもに教えるのは難しいと思いますが、そのあたりはどうでしょう。</p>
井上学びづくり課長	<p>初任者研修の研修講座の中には、ふるさと学習の副読本を使った講座も準備しています。ただ、数年前に行っていた「アイラブ福山セミナー」という、教職員が企業を訪問したり、福山の文化などを実際に見学して学ぶことは、今はできていません。いただいた意見も踏まえ、教職員が福山を学ぶことについても検討をしたいと思います。</p>
三好教育長	<p>ふるさと学習の副読本を新たにしましたが、方言、備後の言葉は入っていましたかね。</p>
井上学びづくり課長	<p>確認します。</p>
三好教育長	<p>また、先ほど金委員から話があった、市外から来ている福山を知らない教職員について、小学校では特に、総合的な学習の時間や探求学習で地域の方々に協力をいただくにあたり、教職員が実際に地域に出て、地域のいろんな人から教えてもらうという取組を行っているということは多くの学校で聞いています。学習の中身そのものを通して、地域の生活や歴史など、地域を知ることができる大きな機会だと思います。また、中学校・福山中学校では、企業探求のプログラムとして、チャレンジウィークの企業訪問だけでなく、総合的な学習やキャリア教育の一環として、企業への提案や福山のものづくりの歴史などを学んでいます。全ての学校ではありませんが、そういう状況です。</p>
三好教育長	<p>他にいかがでしょうか。</p>
神原委員	<p>10ページの下に、「集合とオンラインそれぞれの良さを生かしたハイブリッドな研修」とあります。今回の議案は、教職員研修の基本方針だと思いますが、その例として、いきなり「実際の授業から考える」があがっています。これは研修というより、子どもたちと日々関わり、教育実践しながらスキルをアップしていくということだと思いますが、それは研修とは違うのではないかと思います。次の「実践的なスキル・知識を習得」というのも、もちろんこれ自体は大事だと思いますが、研修とは違うのかなと思います。右側の「多様な講師による研修の受講」として、講師になられた先生とオンラインで教職員が研修を受けるというのは研修として理解できますし、「個々に応じた研修」も教職員がテーマから内容を選択して受講し、グループ協議を行う研修だと思いますが、左側に書いてあることが研修の例としていいのかどうかわかりませんでした。書かれてあることは正しいことですが、基本方針に書くべきことなのかわかりません。</p>
井上学びづくり課長	<p>「実際の授業から考える」というのは、研究授業として授業を公開し、そこから学ぶ研修を予定しています。以前オンラインでも実施したことがあります。子どもたちの細かな表情やつぶやきなどは実際に授業を見て学んでいくほうが良いということで集合研修の形で行う予定です。また、下の「実践的なスキル・知識を習得」では、例えば、任意研修の中の小学校外国語活動・外国語研修として、実際にALTが講師になって、英語表現や原理的に英語を学ぶチャンツなど、日々の授業で使えるスキルの習得</p>

	をイメージしています。表現がわかりにくく、申し訳ありません。
金委員	左が集合研修、右がオンラインということですね。ALTの外国語の研修はZOOMなどで各学校に同時配信をする形ですか。
井上学びづくり課長	これまで外国語研修については、オンラインで実施したことはありません。集合研修として、グループごとにALTがつき、教職員が児童生徒役になって、実際の授業をするようなイメージで、声を出したり、ゲームを行ったりすることで、日々の授業で活用できるようにしています。オンラインで発音や表現方法などを学ぶことはできますが、特に小学校の外国語活動では、教室の明るい楽しい雰囲気が体感できることを良さとして集合研修として位置付けています。
三好教育長	今いただいた意見をもとに整理をしたほうがいいですね。
井上学びづくり課長	整理します。
金委員	「集合研修」と「オンライン研修」でタイトルをつければよいと思います。
横藤田委員	この研修基本方針に入れてほしいということでは全くありませんが、私が教育委員になって半年あまりで、人事の報告などを通して、教職員が精神的に追い詰められて、辞めてしまうという事例が多くあります。そうした教職員へのケアの方針について、次年度、新しい担当者や相談窓口を設けるなどの取組は何かありますか。
亀山学事課長	今年度も行ってきましたが、学校指導員が学校へ出向いて校長等から学校の状況の聞き取りを行います。次年度は早いうちから回数を増やして、多くの学校へ出向いて情報を集めるようにします。また、初任者も含め、他市町から転任してきた職員に焦点化し、学校で面談をするなど、早めの対応を行います。合わせて、そういった相談を教育委員会で共有し、課題を明確にして取り組んでいきます。
横藤田委員	せっかく希望して教職員になられた方が辞めなくていいように期待しています。市にとっても、本人にとっても、大きな損失だと思いますので。
井上学びづくり課長	先ほどの学事課長の説明に加えてですが、休まれている教職員等の情報についても、学事課・学びづくり課・教育総務課という課をこえて、必要なことは共有をしたいと思います。学事課だけでなく、教育内容のことで学びづくり課の指導主事が学校に出向くこともありますので、そういった情報を共有した上で校長や教職員本人から話が聞けるような対応を考えています。
三好教育長	市長から、より適切な指導・支援体制を取るよう通知を受け、教育委員会で御意見をいただいたものを、具体的にできるよう整理しているところです。今言われたことも踏まえ、きちんと受け止めて返していけるものにしていこうと思っています。もう少し整理をして、具体的にしたもので、年度が替わってお伝えできればと思います。 また、今年度、御意見をいただいた働き方改革の基本方針がまだ整理できていない状況です。その中にも、あらためて、教職員への相談体制やよ

りよく働けるということをどう位置付けるのか含めて考えているところで
す。年度が替わりますが、あらためて御議論いただきたいと思っ
ていますので、よろしくお願いします。

三好教育長 他にいかがですか。

全教育委員 (なし)

三好教育長 ないようですので、お諮りします。
議第89号は、原案どおり可決してよろしいでしょうか。

全教育委員 (異議なし)

三好教育長 御異議ないようですので、議第89号は原案どおり可決しました。

三好教育長 1点補足させてください。私の報告のところで、3月17日に臨時校長
会議で内示を行ったことをお伝えしましたが、その前段で、市長からの通
知を受けて教育委員会会議で整理していただいた「学校の主体性と創意工
夫による「福山100NEN教育」の更なる推進について～指導・支援体
制の充実に向けて～」について、教育次長と私から校長に説明を行った
後、内示を行っています。2つに分けて実施をしています。

三好教育長 予定しておりました議案は全て審議いたしました。他に何か、ありま
すでしょうか。

全教育委員 (なし)

三好教育長 ないようですので、本日の教育委員会会議はこれで終わります。

【閉会時刻 午後2時35分】